

千葉大学医学部附属病院でリンパ浮腫の診断や評価に関する検査を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月19日

形成・美容外科

婦人科

乳腺外科

放射線科

現在、形成・美容外科、婦人科、乳腺外科、放射線科ならびに放射線部では、リンパ浮腫における医用画像解析に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2007年1月1日～2026年3月31日の間にリンパ浮腫の診断を受けて画像検査を受けた方、ならびに上肢または下肢の画像検査を受けた方

1. 研究課題名

「リンパ浮腫における医用画像解析に関する観察研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2031年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

リンパ浮腫はがんの治療後に起こることのある、手足のむくみを生じる疾患です。婦人科がんや乳がんなどの治療後にみられることがあり、なるべく早いうちに発見して治療にとりかかることにより良い治療結果が得られると考えられています。しかし、診断のために行われるさまざまな画像検査について、それぞれの違いや正確さが十分に整理されているとはいえません。

本研究では、リンパ浮腫の診断に用いられている画像検査について、それぞれの特徴

や得意な点、診断の正確さを比較し、どのような場合にどの検査を選ぶのがよいのかを明らかにすることを目的としています。また、人工知能（AI）を活用して、リンパ浮腫をより正確に診断する方法や、手術を安全かつ効果的に行うための支援方法を研究します。これにより、より適切な検査と治療の選択につなげ、リンパ浮腫診療の質の向上を目指します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学医学部附属病院形成・美容外科研究室、千葉大学フロンティア医工学センター野村研究室、中口研究室に提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、これまでの診療の中で記録された情報を使用します。新たに検査や処置を追加で行うことはありません。具体的には、以下の情報を使用します。

- 年齢、性別、診察所見、診断名、生体インピーダンス検査の結果
- 画像検査の結果（リンパシンチグラフィ、超音波検査、CT 検査、MRI 検査、ICG リンパ管造影検査など）
- 手術を行った場合の手術記録、手術中の所見、手術方法、および手術映像

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	秋田 新介
共同研究機関名	研究責任者
NACS クリニックリンパ浮腫センター 北横浜	長西 裕樹

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学（千葉大学自然科学系総合研究棟、千葉大学フロンティア医工学センター）および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細

については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

形成・美容外科 診療准教授 秋田新介

043（222）7171 内線 5282